

info

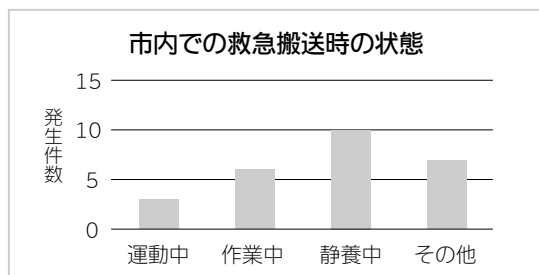
07

熱中症に気を付けて夏を元気に過ごそう！

熱中症は気温が高くなる7月に多発する傾向があります。令和4年5月から9月までの市内での熱中症による救急搬送件数は26件と令和3年度より3件増加しています。熱中症は、予防や早期対応が大切です。今年も暑くなることが予想されるのでエアコンの適切な利用、こまめな水分補給など熱中症予防行動を積極的にとりましょう。

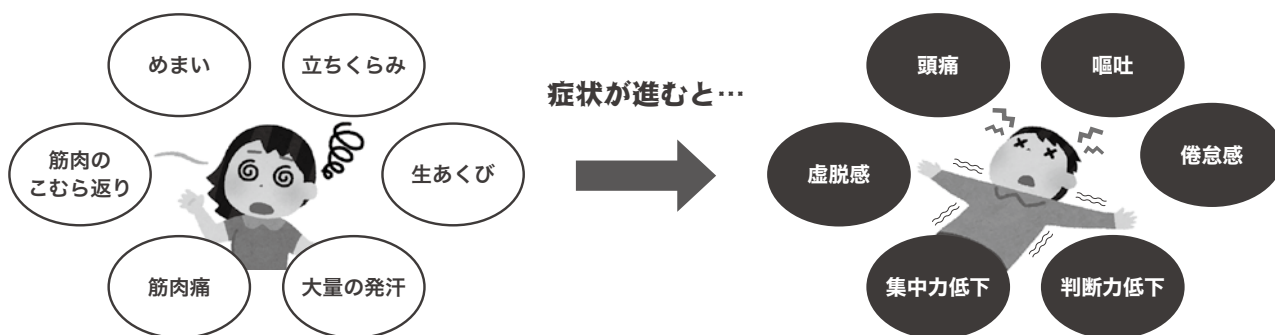


熱中症による救急搬送時の特徴を知ろう



- ▷令和4年は屋内での発生が多く、デスクワーク中に搬送されたケースもあります。
- ▷静養中の方の搬送が多くを占めています。
- ▷熱中症による救急搬送者の約7割は高齢者です。

このような症状があれば要注意



熱中症の症状がある場合（主な対処方法）

- ▷エアコンが効いている室内や風通しのよい日陰など涼しい場所へ避難する
- ▷衣服をゆるめ、体を冷やす（首周り、脇の下など）
- ▷水分・塩分を経口補水液などで補給する



湯沢雄勝広域市町村圏組合
消防本部から市民の皆さんへ

水分の補給は「汗をかくような作業をする前に」、「作業中は時間を決めてこまめに」が大切です。熱中症が疑われる方を見つけ、その方が自力で水が飲めない、呼びかけに対する返事がおかしい、または反応しない時はすぐに救急車を呼んでください。

他にも保冷剤や冷たいタオルで体を冷やす、通気性のよい衣服の着用も効果的です。家族やご近所同士で声をかけあい熱中症を予防しましょう。

健康対策課保健推進班（☎ 56-8020）

湯沢市の暑さ指数はいくつ？
チェックしてみよう！

▶環境省熱中症予防情報サイト
湯沢の暑さ指数の実況と予測

